

魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><1/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
ガザミ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	ND	ND	ND
カスザメ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	55	88	143
コモンカスベ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	96	160	256
シログチ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	4.4	6.0	10.4
ババガレイ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	84	150	234
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	63	110	173
ブリ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	4.1	4.9	9.0
ホシザメ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	5.3	11	16.3
マトウダイ(筋肉)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年11月21日	ND	7.6	7.6
アイナメ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	52	87	139

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.2Bq/kg(生)、Cs-137が約4.7Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><2/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
イシガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	35	55	90
ガザミ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	ND	ND	ND
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	99	170	269
ババガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	110	210	320
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	29	62	91
ブリ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	6.6	9.7	16.3
ホウボウ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	9.9	18	27.9
ホシザメ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	4.7	11	15.7
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	24	54	78
マダイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年11月21日	12	17	29

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.6Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><3/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
ガザミ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	ND	ND	ND
ケムシカジカ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	88	150	238
ゴマサバ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	ND	ND	ND
シロザケ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	ND	ND	ND
ヒラメ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	63	94	157
ホウボウ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	27	49	76
ホシザメ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	7.5	21	28.5
マゴチ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	37	69	106
マトウダイ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成24年11月19日	4.3	6.0	10.3
アイナメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	12	19	31

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約3.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><4/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
イシガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	32	56	88
カナガシラ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	ND	7.7	7.7
カナガシラ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	ND	6.7	6.7
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	32	56	88
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	33	59	92
スズキ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	16	27	43
チダイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	ND	3.7	3.7
チダイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	ND	4.4	4.4
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	14	16	30
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	24	48	72

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.1Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><5/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
ホウボウ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	12	17	29
マアナゴ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	13	19	32
マガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	ND	9.4	9.4
マガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	6.0	13	19
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月16日	17	30	47
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	11	20	31
マトウダイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年11月30日	4.4	8.6	13
アイナメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	8.3	9.9	18.2
アイナメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	15	33	48
イシガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	23	36	59

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約5.7Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><6/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
カナガシラ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	7.1	7.1
カナガシラ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	ND	6.6	6.6
コモンカスベ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	23	30	53
ジンドウイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	ND	ND
スズキ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	32	54	86
チダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	ND	ND
チダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	3.6	5.9	9.5
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	8.3	17	25.3
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	11	22	33
ホシザメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	ND	9.0	9.0

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.1Bq/kg(生)、Cs-137が約4.2Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果＜福島第一原子力発電所20km圏内海域＞＜7/8＞

（データ集約：12/14）

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
マアジ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	4.6	4.6
マアジ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	ND	4.2	4.2
マアナゴ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	4.9	8.8	13.7
マガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	3.8	9.4	13.2
マコガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	21	37	58
マコガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	6.9	23	29.9
マダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	7.2	8.2	15.4
マトウダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	7.5	7.5
マトウダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	ND	8.3	8.3
ミズダコ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	ND	ND

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約6.0Bq/kg(生)、Cs-137が約3.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値（平成24年4月1日以降）Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内海域><8/8>

(データ集約: 12/14)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
メイタガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月30日	15	20	35
ヤリイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年11月16日	ND	ND	ND
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約3.7Bq/kg(生)、Cs-137が約4.0Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

※ 基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

※ 分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施